



2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月12日

上場会社名 株式会社バリューゴルフ 上場取引所 東
コード番号 3931 URL <https://corp.valuegolf.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 水口 通夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 渡辺 和昭 (TEL) 03-6435-1535
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第3四半期の連結業績（2025年2月1日～2025年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	3,405	9.5	64	△38.1	56	△38.7	36	△15.7
2025年1月期第3四半期	3,109	12.3	104	169.3	91	240.2	43	—

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 36百万円 (△14.7%) 2025年1月期第3四半期 43百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第3四半期	20.19	—
2025年1月期第3四半期	29.07	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第3四半期	3,353	1,116	33.2
2025年1月期	2,647	1,125	42.4

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 1,114百万円 2025年1月期 1,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年1月期	—	0.00	—		
2026年1月期（予想）				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年1月期の連結業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	9.0	180	99.9	160	115.5	120	—	60.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期3Q	1,807,000株	2025年1月期	1,807,000株
② 期末自己株式数	2026年1月期3Q	191株	2025年1月期	191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年1月期3Q	1,806,809株	2025年1月期3Q	1,806,809株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年2月1日～2025年10月31日)におけるわが国経済は、米国通商による影響が自動車産業を中心に見られるものの、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策による下支えはある一方で、原材料・資源・食料価格の高騰、為替の円安基調による物価上昇の加速が個人消費を下押しするリスクとなり依然として不透明な状況となっております。

ゴルフ事業を取り巻く環境におきましては、コロナ禍において増加したゴルフ場利用者数が記録的な猛暑の影響により緩やかな減少に転じております(一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会調査)。一方で、関東圏のゴルフ会員権相場が堅調に推移するなど、個人・法人の需要が高まってきており、コロナ禍に再燃したゴルフブームが継続していると考えられます(日本経済新聞2025年8月17日電子版)。ゴルフ業界全体においては、若年層ゴルファー・女性ゴルファーの掘り起こしを行い、ゴルフ人口の拡大に注力しております。

トラベル事業を取り巻く環境におきましては、訪日外客数が8月3,428千人(前年同月比16.9%増)、9月3,267千人(前年同月比13.7%増)、10月3,896千人(前年同月比17.6%増)となり、累計では9月末に過去最速で3,000万人を突破し順調に推移しております(日本政府観光局「JNT0」)。一方、出国日本人数は8月1,648千人(前年同月比14.7%増)、9月1,394千人(前年同月比15.0%増)、10月1,243千人(前年同月比8.3%増)となりました。前期と比較し、出国日本人数が徐々に回復してきております(日本政府観光局「JNT0」)。

このような経営環境の下、当社グループは売上高の拡大及び収益の強化に向け、各事業において新規案件の獲得やサービス品質向上に取り組んでまいりました。更なる企業価値の向上を図るべく、AI技術への投資を進めるべく、人材の確保に努めました。また不動産事業への投資、タクシー広告やSNS広告等への投資活動を行いました。その影響により一時的な業績への影響がみられるものの、当社グループの持続的な企業価値向上につながると見込んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,405,297千円(前年同期比9.5%増)、営業利益64,497千円(前年同期比38.1%減)、経常利益56,216千円(前年同期比38.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益36,488千円(前年同期比15.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、ASPサービス『1人予約ランド』における会員数が引き続き堅調に推移し、2025年10月31日時点で会員数は122.4万人(前期同期比8.3%増)と増加を続けております。おかげさまで『1人予約ランド』はスタート開始から15周年を迎えることができました。引き続きゴルフ場における1人予約のガリバーとして今後もより多くのユーザーから支持されるサービスとなるよう、更なる機能追加・改善を続けてまいります。

また『リピ増くん』ならびに『リピ増くんDX』の新規受注獲得を鋭意進めてまいります。特に『リピ増くんDX』は、ゴルフ場経営のDX化を推進することで日々の運営の省力化に貢献する他、AIを活用した集客プロモーション支援によりゴルフ場の経営課題を包括的に解決できるサービスとして機能の拡充を進めてまいります。

ECサービスにおきましては、当期も円安傾向継続の影響を受け海外クラブの輸入価格が高止まりしております。並行輸入品の販売を大きく見直し日本モデルや特に利益率の高い自社オリジナル商品の取り扱いを更に拡充し、商品構成の改変を引き続き進めてまいりました。今後も自社オリジナル商品の取り扱い拡充を引き続き行い、原価低減・販管費の削減を更に進め、収益増を実現してまいります。

レッスンサービスにおきましては、バリューゴルフ大崎、ジューパーズゴルフクラブ浦安 by ValueGolfともに当期も会員数が堅調に増加いたしました。引き続き会員数の獲得に注力してまいります。インドアレッスンに加えゴルフショップが併設された複合施設として地域における認知が進み、ゴルファーより好評を得ております。今後もレッスン施設近隣企業への営業活動、地域新聞への出稿やWEB広告とSNSを活用し積極的な情報発信を行い、顧客の獲得に努めてまいります。より多くの顧客ニーズに応え顧客満足度を向上させるべく、サービス提供・イベント実施を積極的に行ってまいります。

以上の結果、売上高2,661,573千円(前年同期比3.1%増)、営業利益384,124千円(前年同期比10.1%減)となりました。

（トラベル事業）

トラベル事業におきましては、円安傾向の継続や渡航先としての日本人気を背景に旺盛なインバウンド需要が続いております。日本への語学留学プログラムの受注などを行い、売上確保に注力致しました。駐日大使館への営業を強化し、個人向けオーダーメイドツアーサイトを開設致しました。今後も各種ツアー催行、ツアー計画や仕入れ・既存大口顧客への営業、新規顧客の獲得を強化してまいります。

株式会社エスプリ・ゴルフではテーマ毎の内容にこだわったゴルフ旅行・メジャーリーグ観戦旅行や海外の名門ゴルフ場とのコネクションを活かした高単価の旅行を催行し、好評を得ております。当期は、マッチングゴルフサロン「Le Lian」をスタートしました。今後も様々な新企画を立案し、既存顧客の囲い込み並びに新規顧客の開拓に注力してまいります。

以上の結果、売上高544,503千円（前年同期比34.9%増）、営業利益35,421千円（前年同期比20.9%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業におきましては、DX推進事業及びSES事業を展開する株式会社ノアの売上が順調に推移しております。また前期に発足したグループデジタル推進室ならびにAI活用研究所が本格稼働し当社グループ内のDX推進を実施しております。今後も旺盛なIT需要・AI開発需要の取り込みを行いながら、顧客への価値提供を行ってまいります。

また、当期より不動産事業を開始いたしました。現在日本のゴルフ場が直面する不動産関連の課題、具体的には遊休地の活用課題に対して、系統用蓄電池施設導入という解決策をゴルフ場へ提案してまいります。初の案件として6月中旬に不動産用地を取得し、系統用蓄電池施設開設のための申請を完了させ、価値を大きく高めております。今回取得した用地はゴルフ場ではありませんが、系統用蓄電池施設導入に向けたノウハウを取得することができました。今後は本用地の売却に着手するとともに、引き続き、案件の獲得へ向けた活動を進めてまいります。不動産事業は当社にとって新たな収益源となる事業であり、更なる企業価値向上・企業成長の大きな原動力となるものであります。

以上の結果、売上高252,512千円（前年同期比68.6%増）、営業利益11,982千円（前年同期比233.9%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

① 財政状態の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して705,577千円増加し、3,353,494千円となりました。これは主に売掛金の増加43,972千円、商品の増加687,831千円、旅行前払金の増加12,463千円によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して713,823千円増加し、2,236,736千円となりました。これは主に買掛金の増加82,735千円、旅行前受金の増加5,448千円、短期借入金金の増加650,000千円及び1年内返済予定を含む長期借入金金の増加21,772千円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して8,246千円減少し、1,116,758千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益36,488千円の計上及び配当金の支払45,170千円による利益剰余金の減少8,682千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2026年1月期通期連結業績予想につきましては、2025年3月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	885,625	861,113
売掛金	319,683	363,655
商品	690,178	1,378,010
旅行前払金	168,576	181,039
その他	130,064	150,767
貸倒引当金	△287	△287
流動資産合計	2,193,840	2,934,300
固定資産		
有形固定資産	30,521	43,452
無形固定資産		
のれん	123,013	100,374
その他	38,526	40,822
無形固定資産合計	161,539	141,196
投資その他の資産		
その他	307,203	280,070
貸倒引当金	△45,187	△45,524
投資その他の資産合計	262,016	234,545
固定資産合計	454,077	419,194
資産合計	2,647,917	3,353,494
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,104	272,840
未払法人税等	21,847	8,843
短期借入金	750,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	29,044	27,678
旅行前受金	190,718	196,166
その他	147,862	155,773
流動負債合計	1,329,577	2,061,302
固定負債		
長期借入金	164,185	143,778
資産除去債務	27,388	30,996
その他	1,762	658
固定負債合計	193,335	175,433
負債合計	1,522,912	2,236,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,328	382,328
資本剰余金	374,819	374,819
利益剰余金	362,386	353,704
自己株式	△338	△338
株主資本合計	1,119,196	1,110,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,408	3,843
その他の包括利益累計額合計	3,408	3,843
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,125,005	1,116,758
負債純資産合計	2,647,917	3,353,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	3,109,517	3,405,297
売上原価	1,964,352	2,232,564
売上総利益	1,145,165	1,172,733
販売費及び一般管理費	1,041,001	1,108,236
営業利益	104,164	64,497
営業外収益		
受取利息及び配当金	290	1,392
貸貸収入	51	—
為替差益	—	2,754
その他	1,088	1,986
営業外収益合計	1,430	6,133
営業外費用		
支払利息	7,979	11,318
支払手数料	1,608	3,093
為替差損	4,132	—
その他	94	1
営業外費用合計	13,814	14,414
経常利益	91,779	56,216
特別利益		
固定資産売却益	—	295
特別利益合計	—	295
特別損失		
資産除去債務履行差額	—	987
特別損失合計	—	987
税金等調整前四半期純利益	91,779	55,524
法人税、住民税及び事業税	38,291	21,090
法人税等調整額	10,216	△2,054
法人税等合計	48,507	19,036
四半期純利益	43,271	36,488
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,271	36,488

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益	43,271	36,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	435
その他の包括利益合計	5	435
四半期包括利益	43,276	36,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,276	36,923

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	10,216千円	12,281千円
のれんの償却額	20,368千円	22,639千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,581,988	394,518	2,976,507	133,010	3,109,517	—	3,109,517
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,105	9,105	16,801	25,907	△25,907	—
計	2,581,988	403,624	2,985,613	149,811	3,135,425	△25,907	3,109,517
セグメント利益	427,475	29,306	456,782	3,588	460,370	△356,206	104,164

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業、DX推進事業及びSES事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額△356,206千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当第3四半期連結累計期間において、株式会社エスプリ・ゴルフの株式を取得し連結子会社としたことにより、「トラベル事業」においてのれんが105,520千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間において、株式会社ノアの株式を取得し連結子会社としたことにより、「その他」の事業においてのれんが45,408千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,661,345	542,466	3,203,812	201,485	3,405,297	—	3,405,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	227	2,036	2,263	51,026	53,290	△53,290	—
計	2,661,573	544,503	3,206,076	252,512	3,458,588	△53,290	3,405,297
セグメント利益	384,124	35,421	419,545	11,982	431,528	△367,030	64,497

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業、DX推進事業及びSES事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額△367,030千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。